

課題感が強まっている今こそ、
みなさんと一緒に支援していきたい。

生活品の高騰が著しく、子ども・若者の置かれている生活
そのものが危険な状態に陥っています。

支援を利用したくても、
そもそも生活ができないという声が常にあります。

「自分なんて社会に必要とされていない」
そう話す彼・彼女らに、社会のなかに
応援をしてくれる人がいることを伝えたいのです。

いただいた寄付は支援の無償提供や
食料配布等の生活支援に活用いたしますので、
ご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

25歳の若者が65歳まで働き続けたら・・・



■税金を納めます（社会保険料等）
およそ 8,000 万円～1 億円

■使用した社会保障（医療介護、年金等）
およそ 4,000 万円～5,000 万円

Point

ひとりあたり 5,000 万円ほど税収が増えます

25歳の若者が65歳まで生活保護を受けた場合・・・



■生活保護費
およそ 9,000 万円～1 億円
税金から支出されます

若者支援は社会に還元されていきます

税収増 5,000 万円 + 使わず済んだ生保費 9,000 ～ 1 億円 = 社会投資効果 最大 1.5 億円

クレジットカードでのご寄付

継続寄付



1日33円～寄付できます。

都度寄付



思い立ったときに寄付できます。

継続型クラウドファンディング

貧困・困窮状態にある
若者の「実費」を肩代わり



《実費》という見えないコストが障壁となり、
社会とのつながりを取り戻せない若者を
社会全体で応援していきませんか？

少年院を出院した子どもたちに寄り添い
更生自立を支え続けるプロジェクト



院内の支援から出院後まで更生自立を支えます。
未来を担う子どもたちの更生自立をともに
支えてください。

育て上げネットは認定非営利活動法人です。育て上げネットへのご寄付は、
いただいた金額に応じて寄付金特別控除を受けることができます。

若者と社会をつなぐ

認定特定非営利活動法人
育て上げネット

〒190-0011
東京都立川市高松町 2-9-22 生活館ビル 1F
TEL：042-527-6051
www.sodateage.net info@sodateage.net



育て上げ

検索

Facebook：sodateage.net
X：@sodateagenet
Youtube：YouTubeチャンネル「育て上げネット」
instagram：sodateagenet
note：育て上げネット広報チーム

Sodateage-Net Annual Report

2024.08.01-2025.07.31

2024-2025年度年次報告書

応援してくださったみなさまへ

当法人にご協力いただき、ありがとうございました。
おかげさまで、さまざまな活動を行うことができました。
ご報告をもって、御礼にかえさせていただきます。



育て上げネット

私たちの活動を **応援** していただき
ありがとうございます。

S すべての若者が
自分に合った「働く」と、自分に合った「生き方」を
実現できるよう、地道に努力していきます。

若者とともに進む社会

本年も、私たち育て上げネットの活動を応援いただき、心より感謝申し上げます。みなさまのおかげでたくさんの若者たちと出会うことができました。長い間、誰にも頼ることができず、ひとりぼっちで生きてきた若者や、日常生活の底が抜けてしまっている若者がとても目立ちました。それでも時間をかけて育んだ信頼関係は、「いまの不安」も「将来の希望」も打ち明けてもらえるほどの安心感につながっています。

やってみたいをカタチに

それぞれの支援プログラムを通じて、若者たちは元気になっていきます。すると、それぞれが「やってみたい」ことを話すようになります。

みんなでBBQしたい。ライブをやりたい。自宅を離れてどこか遠くに行ってみたい……。そんな若者たちのやってみたいを、寄付者のみなさまのお力をお借りしながらカタチにする努力を重ねた一年でした。できなかったこともあります。自分の言葉を大人たちが本気で実現しようと動く姿に、彼女ら・彼らもまた一緒になって行動する。若者と支援者が一体となる小さなチャレンジをたくさん行うことができました。

就労支援の「出口」への取り組み

育て上げネットの強みは、「働く」「働き続ける」支援にあります。いまは学校に行けない、自宅から出られない、他者とかかわることが苦しい……。それらの悩みや困りごとの先には、働くことを見据えています。働きたいと考えています。

これまでの就労支援は、働き先としての「出口」が課題でした。しかし、テクノロジーの進展により、多様な働き方が整備されています。また、働きたい若者と、若いひとたちを大切にする企業との連携が深まり、若者が働くにあたって「良い企業」のネットワークを拡充できています。

働くことは自由になること

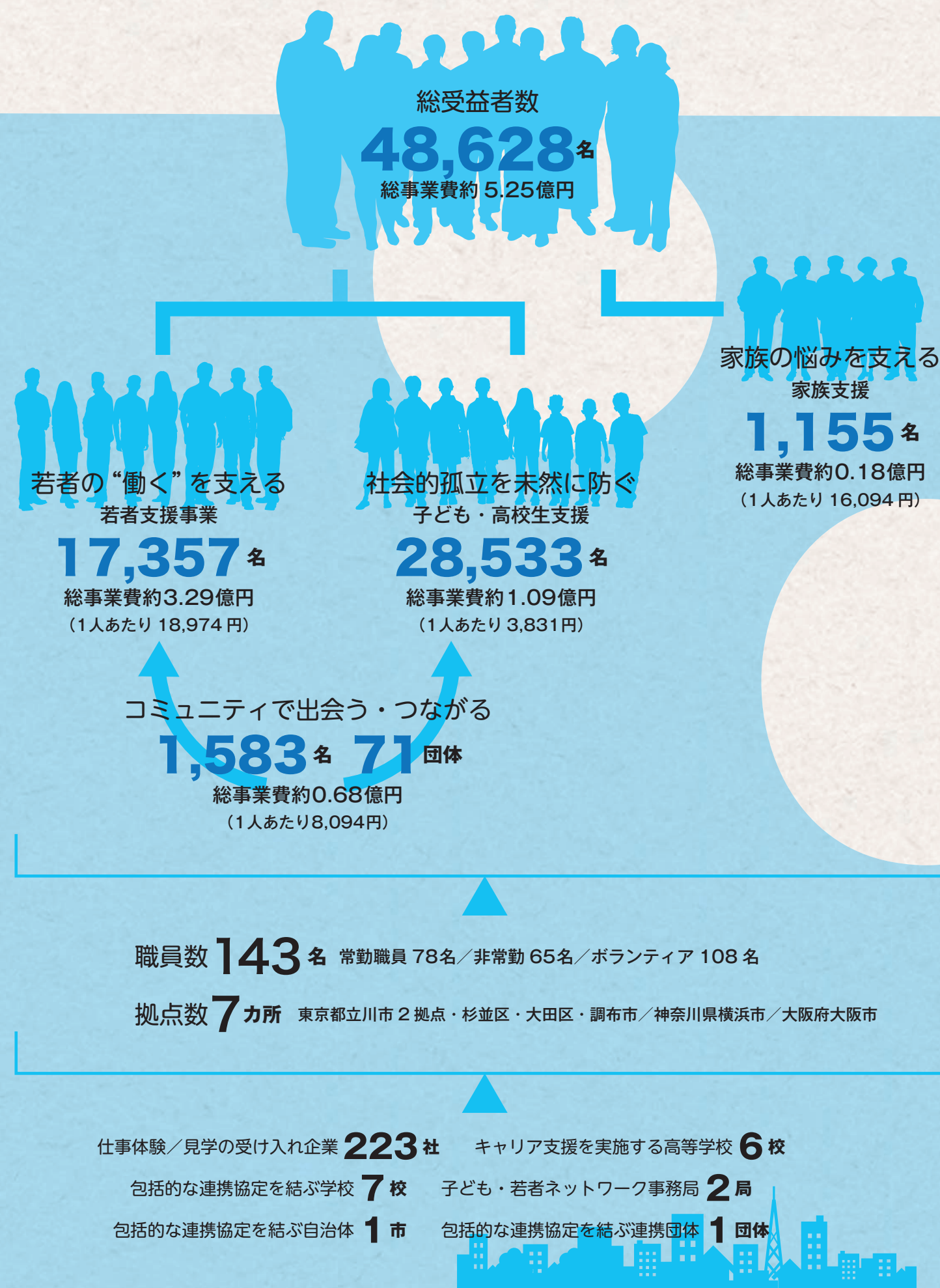
過去、ジョブトレを利用して就職した若者が教えてくれました。

「働くのはつらい、でも、働けなかった頃には戻りたくない」。

働くことがすべての悩みや問題を解決するわけではありませんが、働けないことは、働く以上につらい状況であることを、彼は教えてくれました。

また一年、私たちはみなさまの応援を力に、すべての若者が自分に合った働くことと自分に合った生き方を実現できるよう地道に努力します。若者を大切にしていきます。

認定特定非営利活動法人育て上げネット
理事長 **工藤 啓**

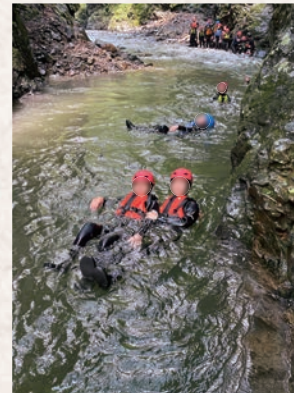


2025年7月31日・令和6年度事業報告書より

一年間いろいろな活動を行うことができました。

8月 サマーキャンプ

東京マラソン2024チャリティの寄付を活用して、山梨県丹波山村でサマーキャンプ開催。子どもたちに社会的な体験機会を提供しました。過去に参加して今は高校生になった子どもたちが、引率役になってくれました。



9月 法人設立20周年感謝祭

これまで関わってきた若者たちが気軽に参加できるよう、「誰でもふらっと寄れるお祭り」をコンセプトに開催。久しぶりに顔を見せてくれた若者も多く、これまでのつながりを強く感じられました。



10月 ふるさと納税クラウドファンディング

夜ユース（若者たちの夜の居場所）運営費調達のため、ふるさと納税クラウドファンディング実施も2年目。目標金額の126.1%を調達することができました。2024年度、夜ユースの延べ利用者数は1,686名。毎週40～50名が訪れる居場所となり、拡大を続けています。



12月 初の音楽ライブ開催

「みんなでライブをやりたい」という一人の若者の声を実現するため、立川市のライブハウス「BABEL」貸し切りライブ開催。各地の支援拠点でバンドが生まれ、スタッフ、利用者という垣根を超えた音楽でつながる場を作ることができました。本号には結成10年を迎えたバンド・マスターズのロングインタビューを掲載しています。



2月 ホームページリニューアル

活動20周年を迎え、法人のビジョン・ミッションの見直しを行ったことから、ホームページのリニューアルを行いました。支援団体としての側面はもちろん、社会全体に対しての発信にもフォーカスを充て、啓蒙・提言にも力を入れています。

3月 チャリティマラソン

国内外を問わず、子ども・若者たちを支えるため寄付を募ってくださったチャリティランナーが大阪、東京の街を駆け抜けました。大阪では雪がちらつき、東京では20度を超える暑さでしたが、ランナーたちは沿道の応援に笑顔でこたえ、軽快な走りを見せてくれました。



4月 石破前総理訪問／園遊会参加

厚生労働省が行う「地域若者サポートステーション」の視察として、石破茂前総理が育て上げネットが運営する、たちかわ若者サポートステーションを視察。また、翌週には、宮内庁が開催する春の園遊会に理事長・工藤啓が参加。陛下と面会しました。



首相官邸ホームページより引用



令和5(2023)年安全安心なまちづくり関係功労者として内閣総理大臣より表彰いただきました

5月 新たに学校との連携協定を締結

25年4月に開校した立川緑高校は、在校生の9割が不登校経験をもつチャレンジスクール。同様の高校では約3割が進路未決定で卒業するなかで、早期にかかわりを持つことで進路未決定卒業の予防を行うほか、未決定となっても卒業後、支援機関につながれるよう、協定を結びました。

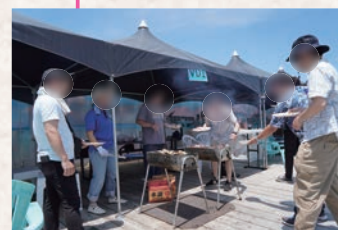


●ほかに支援に関する包括的な連携協定を締結しています

宮城県岩沼市
都立五日市高等学校、砂川高等学校、羽村高等学校（通信・定時）、
秋留台高等学校、立川緑高等学校
東京都立立川市第二小学校
立川アスレティックFC

6月 BBQ 企画

若者になじみあるツールを活用した信頼関係を作る活動の一つとして「食」を活かしたプログラムを開催しました。クラウドファンディングによってご支援いただいた方もご招待させていただき、多様な年代・立場の人が混じった交流イベントとなりました。



このほか、家族のための相談支援プログラム「結（ゆい）」が活動15周年を迎えました。いち早くオンライン支援に乗り出し、年間1,000件を超える相談支援を行えるチームへと成長しています。140名を超える職員とパートナーを抱える大きな組織体となってきたいま、働くスタッフのための人事制度の見直しも進めています。今までにない価値観や支援手法に挑戦する組織でありながら、新規性の高い場でも期待役割のなかで安定的に成果を出せる人材を育成するためのコンピテンシー評価・育成制度を設けました。

私たちの**事業**をご紹介します。

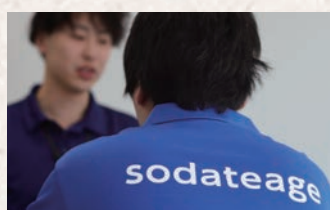
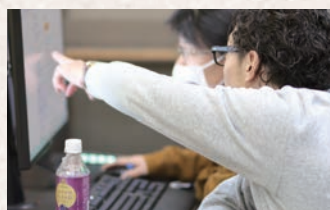


ジョブトレ

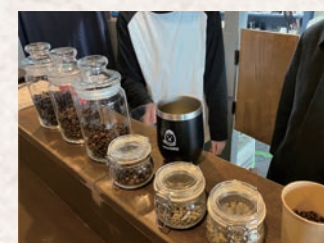
若年就労基礎訓練プログラム

地域の方の声で自尊心を 取り戻す若者たち

創業以来、基盤事業の位置づけとなっている就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」は20年の活動のなかで少しずつ形を変えながらも、個々の事情に合わせた柔軟な支援を続けています。地域の協力のもとで、清掃活動や農家のお手伝い、お祭りの運営補助、庭の草刈りなど、小さな仕事を任せていただいています。みんなで取り組むことで集団で動くことに慣れたり、報告・連絡・相談のような基本的な働く力を身に付けていくことができます。若者たちは社会とのつながりを失い、そんな自分の状態に自信を喪失しています。自分が社会参加することはむしろ迷惑なのではないかと考えているほどです。ジョブトレの活動を通じて、地域の方々からの「ありがとう」「助かったよ」の声で自尊心を取り戻していく。人とつながる経験から働く自信を培っていきます。



売らない 珈琲屋さん



売らなくても 社会とのつながりを作っていこう

大阪にある拠点「コネクションズおおさか」では、若者がスタッフや若者にコーヒーをふるまうセミナーを実施してきました。

そこで、これまでコーヒーのドリップを体験してきた若者に「お店で売ってみませんか？」と、実社会での活動を提案をしたのですが、「売りたいくない」というそっけない返答。今までもいろいろな人にふるまってきたのに、なぜ売ることができないのか……と話を聞いたところ、「自分で作ったものをあげることはできるが、売る（対価を得る）のは不安」とのこと。それなら、販売はせず飲んでもらうだけの体験をしようとはじめたのが「売らない珈琲屋さん」です。実際に働くとなれば金銭がからむこともあります。そもそも若者に経験してほしいのは、社会とのつながりやかかわりを持つこと。お客さまの「おいしかったよ」「また飲みに来るね」という言葉には、今までの努力が実を結び、若者の自信につながる機会が詰まっています。

「売らない珈琲屋さん」は毎月大阪市内の飲食店にスペースをお借りして提供しているほか、イベントや連携企業の社内企画として活用いただいています。出店情報はホームページで公開していますので、ぜひお近くの開催がありましたらお立ち寄りください。

若者とつながり

若者を社会につなげる活動



夜の ユースセンター

ジョブトレから派生した若者が集う、ゆるやかなつながりを感じられる居場所「夜のユースセンター」は開所から3年が経過し、すっかり定着しコミュニティになりました。24年度の参加実績は延べ1,686名/平均36名でしたが、増加傾向が続き、最近では60名を超える日も珍しくありません。

まず、若者たちとつながる、そして次は若者が社会へとつながる。私たちが若者と社会を取り持つ支援を今後も展開していきます。



あなたと家族のアドバイザー

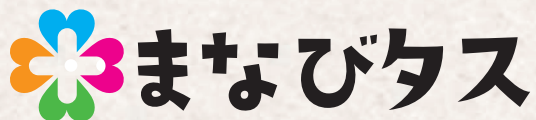


まずは“あなた”を支えたい オンライン相談なら、安心・気軽に相談できます

2024年に活動 15 周年を迎えた家族相談プログラム「結」は、これまでの「子どもの将来相談窓口」という肩書きから「あなたと家族のアドバイザー」に変更しました。家族をひとつの集団と考えたとき、ヘルプの声を上げた“あなた”をまずは支え、そのうえで背景にある家族の悩みに目を向けたい……。そんな想いをこめています。子どもが親の時代とはまったく違う人生を歩んでいることに不安を感じ、「子どもへの接し方がわからない」という声も増えています。一方で、ひきこもり状態が長く続き、親は定年退職を控え、これ以上猶予がない状態のご家庭からの相談も依然として多いのが現状です。働いている方であれば会社所属のカウンセラーを頼ることもできますが、家族の悩みまでは聞いてもらえません。メンタルクリニックなども本人不在では進まないことも多く、誰にも相談できない方もいらっしゃると思います。「結」のオンライン相談なら、スマートフォンを使って、誰にも知られず相談ができ、また場所を選ばないため、車の中や公園など外からでも気軽に相談できます。「結」では、家族のアドバイザーとしての活動を今後も継続していきます。



2024-2025 年度も引き続き、厚生労働省をはじめ、各自治体手がける支援プログラムに携わっています。地域若者サポートステーションでは地域連携の強化を推進する「地域連携支援コーディネーター」という新たな役割が生まれ、学校や支援団体、企業などさまざまな地域資源の積極的な活用を進めるように変化が起きています。



たかがわテミル



国・自治体が孤独・孤立対策を積極的に進めていますが、その一つとして立川市との連携で「たかがわテミル」という支援が新たにスタートしています。「知る、見てみる、やってみる」をコンセプトに自分の興味のあることや気持ちが前向きになれることにチャレンジできる場作りを進めています。

Connectionシリーズ

将来の孤立予防を目的としたキャリア教育プログラム「ライフコネクション」を、全国へ広げる新たな取り組みを進めました。これまで職員による出張授業が中心だった本事業は、人的リソースの制約から提供数に限界がありました。そこで助成事業の一環として、全国の若者支援団体と連携し、プログラムの趣旨やノウハウをハンズオンで共有する「連携団体モデル」を開始しました。現在は6団体が参画し、地域の担い手として主体的に取り組んでいます。

まだ高校での実施は一部にとどまっていますが、各団体が強い共感と意欲を持って関わっており、今後、より多くの子どもたちに継続的に届けられる基盤が整いつつあります。

MoneyConnection®

Life Connection®

MOBILE CONNECTION

子ども・中高生を取り巻く環境が変化するなか “経験”機会を増やしていく

不登校者数が過去最大の 35 万人にのぼり、高校生の約10人に1人が通信制高校に通う現在。一方、少子化が進み新たな働き手の確保が難しくなり、東京都内の高校生求人倍率は14.5倍と超売り手市場という状況になっています。

コロナ禍も経験し、子どもたちを取り巻く環境は従来のものとはまったく異なる状態が続いています。

これまで、学校の宿題や通信制高校のレポート提出の補助など学習面での支援に加え、文化的・社会的な体験を提供してきましたが、より一層、体験型の機会提供を強化しています。

毎年行っているサマーキャンプのほか、長野県で古書を取り扱うバリューブックス社での仕事体験や農園での収穫作業ボランティア、修学旅行など、多様な経験ができる環境づくりを進めています。

中学生の学習支援には高校進学という大きなゴールがありますが、その過程で経験する模擬試験や漢字検定などのテストを受ける機会の提供も行っています。経済的な理由でこうした機会に恵まれなかった子どもも多いなかで、経験のなさが自信喪失につながることをないように心がけています。



私たちはこれまで培ってきた支援ノウハウを幅広く活かし、誰もが必要な支援につながりやすい社会を形成していきたいと考えています。

育て上げの若者たちから生まれた バンドインタビュー

音楽

×

就労
支援

育て上げネットのバンド マスターズ

結成は10年くらい前。ジョブトレの毎年の忘年会に出し物として結成されたのがきっかけ。インタビューに参加した H さんが言い出っぺ。当時からジョブトレは「なんでもやったらいいじゃん」という雰囲気があった。入職してすぐの新人だった H さんが、「“バンドやりたい” と思い切って言ってみたらスグに実現できた (笑)」という。このバンド「マスターズ」をきっかけに、今では各拠点にもバンドブームが巻き起こり、育て上げネット内のバンドだけで、立川市の有名ライブハウス「BABEL」を貸し切るほどになった。

A インタビュー進行役
マスターズではボーカルを担当することもある。

S さん
育て上げネット利用者。マスターズのメンバー。

H
育て上げネット職員。マスターズ初期メンバー。

W
元利用者で現在は職員。マスターズのギタリスト。



S さんが就職し、育て上げネット LIVE のスポンサーを引き受けてくれた会社

株式会社エヌケイグローバル
<https://nk-global.jp/>

「みんなを笑顔にする企業」を掲げ、保育・介護・医療業界などに関わる求人サイト運営と有料職業紹介を展開。さらに、Web 制作やデザイン、映像制作、飲食コンサルティングなどの幅広い事業を手がけ、多様な受け皿で人と組織を支える総合企業。東京都認定ソーシャルファーム事業としては、韓国料理を提供する飲食店を運営。

ソーシャルファームとは、自律的な経済活動を行いながら、就労に困難を抱える方が、必要なサポートを受け、他の従業員と共に働いている社会的企業のこと。エヌケイグローバルが運営する「金家・KINKE」は東京都に認定されたソーシャルファームです。くわしくは→



育て上げネットLIVE@ 立川 BABEL
2026.02.07 **土** open14:00
start 14:30

マスターズや各拠点のバンドが一同に集結！
若者たちが作り上げる音楽をご堪能ください。
NPO法人サンカクシャのバンドも出ます。
来場無料！ ぜひお越しください！



やりたければやればいい！ 育て上げネットならではの勢い

H マスターズ結成は今から 10 年くらい前。僕が「バンドやりたい」と言ったら、現場リーダーの阿部さんから「一緒にやってくれる子がいるよ」と紹介されたのが W さんでした。

W 当時、僕は利用者でしたが「やりましょう!」という軽い感じで OK しました。面白そうだなと思ったんです。

A S さんはどういう経緯でバンドに入ったんですか？

S 6 年前、はじめてジョブトレの見学に来たとき、電子ドラムが置いてあって、そこから音楽の話になりました。僕もバンドをやっていたんで、「一緒にやろうよ」と言われて「はい!!」と。

H S さんはドラマーだったので「逃さない!」と思ってました (笑)。当時ドラマーがいなかったんで。

S 育て上げネットで支援を受けることになって、最初は緊張してましたが、楽器があると話しやすかったです。

W 音楽は会話のきっかけでしたね。

みんなで楽しく一緒に 一つのことに向かうバンドの練習

A マスターズの活動で印象に残っていることはありますか？

H みなさん本当に上手で、すごく支

えてくれています。自分は素人なので、好きなようにしか弾けない! リズムが変だったと思うんですけど、他のメンバーがちゃんと曲が成り立つように軌道修正してくれるんですよ。「大丈夫!」と言ってくださる感じ。普通のバンドなら怒られてもしようがなかった (笑)。

S メンバーが「やりたい」と思った気持ちを形にして実現できるように、サポートしようと決めていました。「やってみたいけどできない」というのは悲しいと思うので、自分ができることは全部やろうと思っています。
A 私もみんなが楽しく一緒にひとつのことに向かう空気が好きで、あたたかさを感じています。そうか、音楽の楽しさはこういうことだな……と。

憧れの大舞台に出演! 「熱い気持ち」を取り戻す

A 2024 年、初めてライブを開催しましたが、こういった経緯で話が進んだんですか？

S 今までも人前で演奏してきましたが、事務所や市民ホールは初心者にはやさしくないと思っていました。その点、ライブハウスなら、音響やバランスを調整してくれます。だから、ライブハウスでライブがやりたいな、と。
W どうせやるなら BABEL でやりたい (笑)。BABEL は、立川駅南口にある、

バンドマンの憧れみたいな場所です。阿部さんに聞いたら「やってみたらいいんじゃないの?」って (笑)。

A 「やりたかったらやればいい」の文化ですね (笑)。

W 連絡してみたら、BABEL 側も「そういうことでしたらぜひ」と言ってくれて、やることになりました。

A 憧れのライブハウスはどうでした？
W 育て上げネットはバンドブームなので (笑)、他の支援拠点もバンドを組んで参加してくれました。全部で 80 名ほどが集まって超盛り上がりましたよ。BABEL はやっぱり音が良くて、次もやりたくなりましたね。

H 実は気持ちが落ちてる時期だったんですが、「2 曲一緒にやろう」と声をかけてもらって。他のバンドの演奏の熱量もすごかった。元気がなかった分パッションの差が大きく「そうだ、こういう熱い気持ちが自分にもあったんだな」って気づかせてもらいました。一回のライブが大きな転機になる、それくらいのパワーがありました。

こんな自分でも誰かと 何かを作り上げることができた

A S さんの就職はこの頃でしたか？
S そうです。ライブの準備で活動量も増えたので、これをきっかけに「仕事も決めよう」と思って動きました。

みなさまの寄付のおかげで
いろいろなサポートを
提供できました。

ありがとうございます！

都度寄付をいただいている個人の方 家族としてだけ見るのではなく 若者を社会的に捉える必要がある

15 年ほど前、友人の息子さんが大学に出席せず、電子ゲームばかりしているという。そこで私は育て上げネットを紹介した。しかしその時は、彼はこの NPO に係わることはなかった。自ら係わったのは7、8年後。その後の支援の内容を私は知らないが、紆余曲折があったのであろう。さらに数年が経過し、彼はある会社に就職し、自律・自立に踏み出すことができた。

現代は若者を、家族としてだけ見るのではなく、社会的に捉える必要がある。そのテーマで社会貢献する NPO の存続に、私はありがたさを感じている。寄付で応援しようと思う理由である。

砂田さん

ご寄付いただいた方からの
メッセージをご紹介します。

ユースセンター継続寄付者 場に出会う若者、支えるスタッフが 健やかでいられますように

ユースセンターにうかがって、若者自身が「今やりたいことをできる」空間が作られていることを感じました。そして、そこには支える大人たちも自然と交われる時間がありました。

何気ない日常の中で育まれる安心や信頼、「大丈夫」の気持ちが、きっとあるなと思わされました。そこに出会う若者が、それをつくるスタッフの方々が、それぞれ健やかでいられますように。

Kotoko さん (匿名)

少年院クラファンの寄付者 再び子どもたちが その選択をしなくて済むように

法を犯すに至った子どもたちの生い立ちや背景にみんながきちんと目を向けることができ、その再出発を地域で支えることができ、再び子どもたちがその選択をせずに済む社会になりますように。

自分にできること、周囲の身近な人に伝えられることを見つけられることを期待して、参加します。がんばってください。

joeyoshimura1220 さん (匿名)



ご寄付のおかげで
内定が決まりました！

交通費の補助で就職が決まった利用者さん 仕事を探したくても 交通費がなくて 思うようにいかなかった

25 歳に離職した際、うつ病になってしまい、空白期間が7年も空いてしまいました。

次の仕事を探したくても、交通費の負担が大きく、探しづらい状況にあったところを助けていただき、内定が決まりました。

ずっとやってみたかったデザイナーのお仕事で、家族にはずっと「あきらめろ」「公務員になれ」と言われていたので本当にうれしかったです。

(中略) 社会の役に立てるように、いつか私も自分のような人を助けられるように、がんばりたいと思います！



実費負担解消プロジェクト継続寄付者 交通費等実費支援は もっと注目されるべき

わたしはひとり親なのですが、ひとり親になりたての頃は、収入を交通費より生活費にあてたくて、今思えばいろいろなチャンスを断ってきました。交通費等実費支援は、就職や相談に関わる移動費だけでなく、友人とおしゃべりなど、より人生を豊かにする橋渡しのサポートであり、もっと注目されるべき費用だと思います。この取り組みを通して、そうした重要性が社会へもっと伝わりますように！

えりさん (匿名)

みなさまからの応援が若者たちの励みにもなります。
「こんなに寄付してくれる方がいるんだよ」と話すと
たいていの若者はびっくりし、
「なんかウレシイ」と言ったりします。



私たちの活動にご支援ありがとうございます。

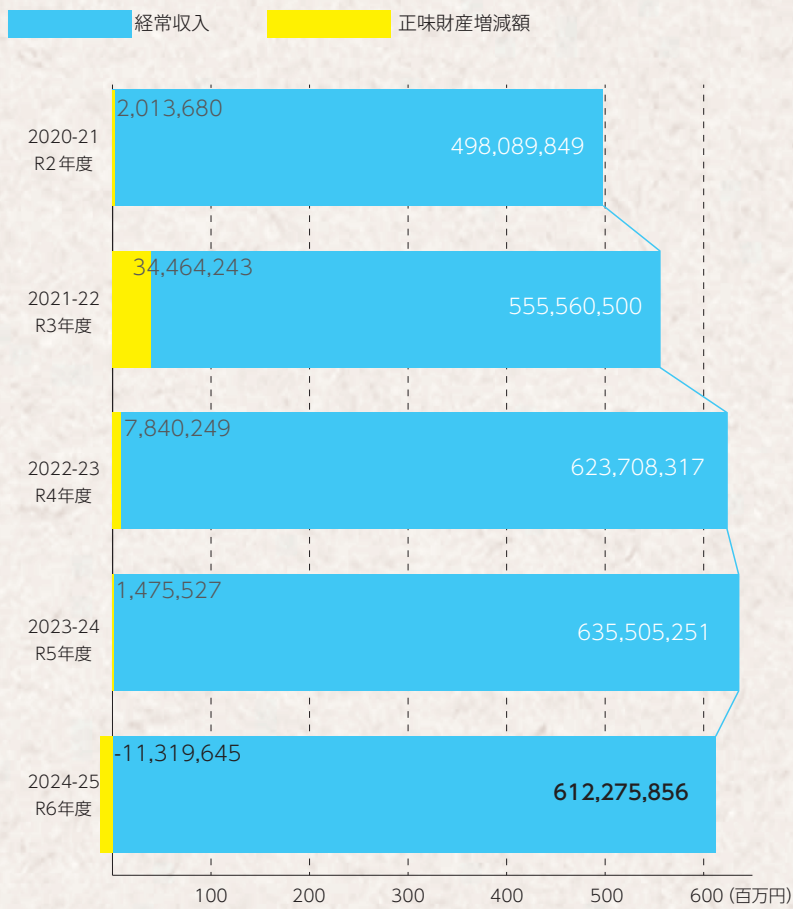
ご支援くださった方全員のお名前を掲載することはできませんが、
重ね重ね感謝いたします。法人・団体でのご支援をご紹介します。

職場体験の機会を提供する オンラインプラットフォーム DEXIT accenture アクセンチュア株式会社	金銭基礎教育プログラム MoneyConnection® SBI 新生銀行グループ SBI新生銀行グループ	Youth Drive for Cyber Security kyndryl foundation キンドリル財団	コレカラ・キャリア JPMorganChase J.P. モルガン Youth Drive for Flexible Digital Work
バグトレ DIGITAL HEARTS 株式会社デジタルハーツ	休眠預金活用事業 JANPIA 一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)	ワークフィット RECRUIT 株式会社リクルート	若者向けデジタル支援プログラム RICOH 株式会社リコー

アトオシ・オンライン citi シティ・ファウンデーション	VALUE BOOKS D-STANDARD 大阪マラソン2026 OSAKA MARATHON CHARITY TOKYO MARATHON 2026 fev	大阪府福祉基金 株式会社 Kiffy 株式会社 CAMPFIRE 一般財団法人ニチレイ MIRAIterrace 財団 認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 公益財団法人日本フィランソロピック財団 一般財団法人三菱未来育成財団 公益社団法人ユニバーサル志縁センター READYFOR 株式会社 ロート子どもの夢基金（NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン） 認定 NPO 法人キッズドア（休眠預金活用事業・資金分配団体）
--	--	--

会計報告

2024 ～ 2025 年度の経常収入および正味財産増減額の推移



2024 ～ 2025 年度の収入・支出内訳

収入	金額 (円)	割合 (%)
会費	160,000	0.02
寄附	121,146,683	19.79
民間助成金	94,297,295	15.41
公的助成金	1,698,000	0.27
公的補助金	27,988,000	4.57
自主事業	36,276,274	5.93
委託事業	329,976,992	53.9
その他	732,612	0.11
収入計	612,275,856	
支出	金額 (円)	割合 (%)
事業費人件費	349,835,718	66.51
事業費計	526,041,927	84.35
管理費人件費	64,442,698	66.05
管理費計	97,553,574	15.65
支出計	623,595,501	

2024 ～ 2025年度貸借対照表

科目	金額 (円)
I 資産の部	
流動資産	127,909,177
固定資産	40,521,241
資産合計	168,430,418
II 負債の部	
流動負債	71,995,121
固定負債	75,357,000
負債合計	147,352,121
Ⅲ 正味財産の部	
正味財産合計	21,078,297
負債及び正味財産合計	168,430,418

令和6年度は、若者一人ひとりの状況により柔軟に寄り添う支援体制づくりを進めた一年でした。従来の対面型支援に加え、オンラインを活用した相談・プログラムや、全国規模でのデジタルスキル支援など、多様な手段を組み合わせ、困難を抱える若者に「つながり続ける支援」を提供しています。休眠預金活用事業の終了など事業費は約3,200万円削減しました。一方で、人事制度の改定など人材への投資が進み全体としては約1,100万円の赤字の決算となりました。みなさまのあたたかいご支援のおかげで今年度も活動を継続することができました。心より御礼申し上げます。